



8 月号

令和 2 年 8 月 1 日発行
 【発行者】〒 168-8510
 東京都杉並区高井戸西 1-12-1
 社会福祉法人 浴風会
 発行責任者 京極 高宣
 TEL (代表) 03-3334-2101
<https://www.yokufuukai.or.jp/>
 【印刷所】株式会社サイド・ピー



グループホームひまわりの庭園に咲くひまわり

本校生徒への豊かな学びの機会の御提供、 それらのことへの感謝の思い

東京都立永福学園 統括校長 伏見 明



自立と社会参加を目指す知的障害が軽い生徒が学んでいる都立永福学園高等部就業技術科が、杉並区永福に開校したのは、平成十九年四月のことでした。

その前年の平成十八年に、私は本校開設準備担当副校長となり、貴法人に御相談に伺っています。その際に御相談した内容は、本校「福祉コース」の指導内容への助言と開校後の連携についてでした。御対応くださったのは、浴風会ケアスクールの服部校長です。

この当時、本校は、ホームヘルパー三級相当の内容を指導したいと考えており、服部校長にそのことについて御意見を求めたことを覚えております。今思えば、知的障害者の高齢者施設等での雇用がほとんどなかった時代に、唐突な相談を受け、服部校長も、さぞ戸惑われたのだろうと思います。

そして開校、本校での指導が始まりました。一年次の体験、二・三年次の二・三週間の実習など、生徒の貴重な学びの機会を貴法人に御提供いただきありがとうございます。特に「福祉コース」の三年生は、毎年、ほぼ全員が「介護職員初任者研修」を受けさせていただいております。資格と自信を得て、それぞれの進路先に巣立っています。また、卒業生のうちこれまで三人が、貴法人のスタッフとして働かせていただいてもおります。

高齢者施設等での雇用実績の少ない時代に、都教育委員会が本校に「福祉コース」を置くことを決めたのは、ある意味暴挙だったのだと言えます。しかし、貴法人の御理解と御協力があったからこそ、知的障害者が福祉サービスの担い手になり得ることの理解が進み、現在、様々な福祉現場で知的障害者が働いており

ます。このことにより、暴挙は快挙になりました。これも、偏に貴法人の御尽力の賜物と感謝申し上げます。

「福祉コース」の生徒に、貴法人の印象を尋ねました。すると、一年次の体験を思い出し、「施設や機器が充実していて、働けるならこういいうところがいいなと思います。」と申しておりました。また、「つながるフェスタ」などでカフェ・サービスをした経験のある「食品コース」の生徒に印象を聞くと、「いろいろな人が集まり、地域の憩いの場になっていると感じました。」と申しておりました。

京極理事長をはじめ、貴法人の皆様には、引き続き本校生徒にこのような学びの機会を御提供くださいますことを切に願っております。

末筆ながら、貴法人の益々の御発展を心より祈念申し上げます。

就任のご挨拶

本部事務局 参事

小河 芳弘



七月一日付で本部事務局参事を拝命しました小河芳弘と申します。

浴風会は「関東大震災」を契機として、内務省主導のもと大正十四年に財団法人として設立され、日本初の大規模養老院を開設しました。それ以来、約一世紀にわたって我が国の高齢者福祉・医療を牽引してきました。

この歴史と伝統ある法人に就任することができ、改めて身の引き締まる思いがしています。

私はこれまで厚生労働省において福祉施策を所掌する社会・援護局で、主に障害者福祉や低所得対策などに携わり、平成二十六年三月に退官しました。

その後、縁があつて清瀬市にある日本社会事業大学に六年間、事務局や役員として勤務してきました。日本社会事業大学は戦後GHQの指導の下、昭和二十一年に福祉専門従事者の養成校として開校した「日本社会事業学校」が前身です。その後、昭和三十三年に日本で最初の福祉系四年制大学となり現在に至っています。浴風会にも沢山の卒業生が活躍していると聞いており、心強い思いがしています。

さて、今年に入ってコロナウイルスが猛威を振るっています。本稿執筆時点で、全世界の感染者数は千四百万人を超え、米国が三百七十七万人、ブラジルが約二百万人、インドも百万人を超える勢いで、収束の見通しが一向に立っていません。日本の感染者数は二万数千人程度とはいえ、冬場に向けた第二波の対策が緊急の課題になっています。幸いにも浴風会においては、職員の皆様の努力によって未だ感染者は出ていませんが、今後も気を緩めることなく感染予防に万全を期していきたいものです。

余談ですが、東京オリンピック・パラリンピックが延期され、来年開催できるかどうか心配されています。私は、オリンピックで一競技、パラリンピックで五競技のチケットを購入できたのですが、これらが無駄にならないことを祈るばかりです。

最後になりますが、この歴史ある浴風会の更なる発展のため、微力ではございますが鋭意努力して参る所存ですので、よろしくお願い致します。

本部事務局 人事部長

赤坂 浩



7月1日付けで本部事務局人事部長を拝命いたしました。

浴風会は、常に時代を見つめ、長期、中期に渡る指針を策定し、これを着実に実行・継続してこられたからこそ、長年に渡る歴史と伝統、そして現在があると思います。5年後、浴風会は創立100周年を迎えます。

これを継続し、更なる発展の一助となるよう微力ではありますが精一杯努めてまいり所存ですので、どうぞよろしくお願いいたします。

私はこれまで、厚生労働省の本省や厚生局、障害者福祉施設において、主に障害者や高齢者等の福祉施策関係の職務に携わってきました。特に、15〜16年程前ですが、老健局痴呆対策推進室の時に、痴呆関係施策の抜本的な改革・推進を図るために、浴風会をはじめ、福祉関係団体の方々にも協力いただき、認知症への用語の変更や認知症サポーターの創設、認知症介護の研修事業の推進、認知症の方を地域で支援する様々な施策に携わらせていただきました。

さて、介護人材は2025年度末には245万人が必要とされています。社会福祉施設にとつて、介護等の専門的な人材の確保・育成は基本中の基本であり、大変重要な位置を占めています。

浴風会としても、職員の処遇改善や離職防止、多様な採用活動の実施、働き方改革への対応等、法人として取り組んでいるところですので、まずは基本中の基本の問題に取り組んでまいりたいと考えています。

現在、新型コロナウイルス対策として、全国的に、また、浴風会としても感染防止対策の取り組みがなされています。私も感染して他者に感染させないように、検温やマスクの着用、手洗い、消毒などに心がけており、最近では日常生活の一部（ウイズ・コロナ）となっています。

しかし、最近、少し意識が薄れてきているようにも思われます。皆が感染予防対策を心がけて、少しでも早く落ち着いてほしいものです。

浴風会ケアハウス 新園長

中澤 雄一



この度、7月1日付で浴風会ケアハウス園長を拝命いたしました、中澤雄一と申します。身に余る大役を仰せつかり、身の引き締まる思いです。私は、平成5年に浴風会に入職後、介護職として利用者ご本人の思いを、相談職としてその方とご家族様の思いを、管理担当としてその方を支援する職員の思いを学ばせていただきました。それぞれの職場で関係者の方々から戴いた助言や思いを胸に、これからの施設づくりに邁進してゆく所存です。

さて、ご承知のとおり新型コロナウイルス関連の報道が続いております。感染される方も後を絶たず、活動を自粛する日常生活がどれだけ続くのか見通しがたない状況です。

私自身も新しい生活様式に戸惑って居り、買い物や通勤など日常生活の様々な場面で不自由な思いを実感していますが、その中でこのような言葉を耳にしました。

「危機を突破すると必ず良いものが訪れる。人生は数々の困難に満ちあふれており、それを突破していくのは信念であり、困難を乗り越えた先には相応の幸福が待っている。」

パナソニックの創業者である松下幸之助氏の言葉ですが、考え方や気持ちまで前向きにさせる言葉の力を感じました。

この言葉のとおり、ケアハウスをご利用される皆様に幸福が訪れる様、ケアハウスのスタッフと共に、「自立した生きがいのある生活」の提供に力を尽くしてまいりたいと考えておりますので、今後ともご指導の程よろしくお願い申し上げます。

本部事務局 財務部長

小原 英嗣



7月1日付で本部事務局財務部長に就任いたしました。よろしくお願いたします。

平成27年10月に病院勤務から浴風園へ副園長として異動となり2年6か月間後に浴風会ケアハウスの園長に就任しました。浴風園、ケアハウスでの約5年間は、多くの施設利用者の方と会話を交わすことができました。戦争体験、趣味、人生観など感心するとともに学ばせていただきました。誕生会や行事では笑顔で楽しい時間を共に過ごすことができました。それぞれが良い思い出でしたし、コミュニケーションの大切さも再認識することができました。利用者の皆さんや職員、その他多くの方に支えられ、無事に勤めることができ感謝しています。しかし新型コロナウイルス禍は園の活動にも大きく影響し、行事の中止、縮小をせざるを得なくなり、3月からは利用者の皆さんと接する機会が減ってしまったのは大変残念なことでした。

この度の財務部長就任は浴風会病院経理課が浴風会のスタートでしたので、初心に帰れということかもしれません。ただ財務は経理処理を間違いないと作成するにとどまらず、分析し、管理していかねばなりません。初心に帰ること、忘れないことの上に、多くを学んでいかねばならないと思っております。安定した経営基盤を継続できるよう貢献してまいりますので、皆様のご指導とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

浴風会の動き (7月)



七夕の笹飾り(ひまわり)

【本部事務局】

今月は、恒例の迎え火、送り火、盂蘭盆会法要を、コロナ禍の影響によって、参加者等の感染予防に配慮した結果、中止とさせていただきます。(浅井)

浴風会ケアスクール

Cafeオレンジリボンウッド

1日 介護福祉士実務者研修13期生。開講、受講生8名。

9日 介護福祉士実務者研修12期生、13期生スクーリング開講。受講生14名。講師・瀧浪美也子氏。

28日 介護職員初任者研修15期生スクーリング開講。受講生11名。講師・服部。

定期的開催しております。「よくふう語ろう会」(第2水曜日)と「Cafeオレンジリボンウッド」(第2月曜日、第4金曜日)は、新型コロナウイルスによる感染拡大予防のため、当面開催を中止とさせていただきます。(鈴木)

【老人福祉事業】

浴風園 (養護老人ホーム)

1日 7月から今まで中止しておりました「クラブ活動」を、大正琴・書道・水墨画の3つのクラブに限り再開しました。久しぶりの活動で講師の方も含め心待ちにされた様子でした。

7日 玄関に飾った笹に、想い思いの願いを短冊に込めました。



22日 例年8月に行われていた、「納涼祭」を規模等を縮小して行いました。食堂での飾りつけや祭りの音楽を流し、職員は法被を着て雰囲気を楽しんでいただきました。また、利用者様には『ひんやり、冷え冷えタオル』をプレゼントしました。熱中症予防にご利用いただければと思います。(徳増)

松風園 (軽費老人ホーム)

29日 今年で開園五十八周年を迎え、昼食時の「お祝いの会」を開催いたしました。



手作りのお祝い膳に舌鼓を打ち、美味しくいただきました。今年も新型コロナウイルス対策もあり、園長の挨拶も文章にして配布いたしました。少し寂しいのご意見を賜りましたが、疫病退散!園全体で祈願しつつ、楽しいひと



浴風会ケアハウス

感染症対策をしながら、体操等の一部活動を再開しました。

14・21日 「ほどよく動く会」。

15日 「筋力アップトレーニング」。

16日 「機能トレーニング」。

ほどよく動く会は今年度からの新しい活動で、少人数でマンツーマンのような指導だったので、丁寧に見てもらえたと好評でした。

22日 「納涼祭」開催。例年夕食時に大ホールで開催しますが、今年は昼食時に変更しました。楽しんでいただけるよう、メニューに工夫を凝らしました。(尾滝)

時となりました。(宮中)

【介護保険事業】

南陽園 (特別養護老人ホーム)

3日 「東京都知事選挙」期日前投票を行いました。

7日 「七夕祭り」開催。

近隣のお宅から譲っていただいた笹に、ご利用者の皆様の願いを込めた短冊や輪飾りなどを飾りました。



26日 「お楽しみ会」開催。4階フロアでプチパンケーキを作りました。ご利用者の皆様と一緒に作り、美味しくいただきました。(丸山)

南陽園在宅サービスセンター (認知症対応型通所介護)

7日 「七夕イベント」開催。この日

のために七夕飾りをご利用者と職員とで作りました。短冊のなかには、「おいしいものをたくさん食べたい」や「健康でいつまでもいられますように」といったものや「思うこと思うがままになれりとも身をつつしむことを忘れるな」といった決意のような言葉もありました。サプライズで職員バンドも演奏し、曇空を吹き飛ばすような楽しいイベントとなりました。(鶴間)

★各事業のお問い合わせは随時行っておりますので、お気軽にご連絡下さい。(鶴間・工藤)

第二南陽園 (特別養護老人ホーム)

7日 「七夕祭り」開催。各フロアの笹にはご利用者の願いを書いた短冊やご利用者が作った飾りが飾られました。

15日 「クッキング★カフェ」を開催し、トマトゼリーとキャラメル魅ラスクを作りました。



7月もコロナ感染予防のため、ボランティアの活動や花火大会が中止となっておりますが、プリンのお取り寄せやレクリエーションを実施し、ご利用者に楽しんでいただくような工夫をしています。(山崎)

第二南陽園在宅サービスセンター (通所介護、介護予防通所介護)

1日 七夕の飾りつけを行いました。短冊に願い事を託し、色とりどりの

笹が出来上がりました。

3日 久しぶりに「陶芸教室」を再開しました。

第二南陽園在宅サービスセンターでは、7月中も引き続き行事やイベントを延期しておりますが、皆様はお元気にお願いしております。(隈本)

★見学申し込みやデイサービスへの質問やお問い合わせは随時受け付けています。

03-3334-2140

第三南陽園 (特別養護老人ホーム)

7日 「七夕祭り」開催。今年も大きくて立派な竹に、ご利用者そして職員も短冊にそれぞれ願い事を書きました。今年はやはり「早く新型コロナウィルスがなくなりま



すように・・・」という願い事が多かった気がします。1日も早く収束することを皆で願って七夕祭りを行いました。

「お散歩」。あいにくの梅雨空が続いていますが、天気が良い日には職員が付き添い、緑豊かな広い敷地内の庭を散歩しています。様々な種類の紫陽花やメダカ池などゆっくり見てまわっています。敷地内の芝生で遊んでいる保育園児とも笑顔で挨拶を交わされ「じめじめしているけど、やっぱり外に出ると気持ちいいわね!」とご利用者も笑顔で楽しまれました。(佐々木)

グループホームひまわり

7日 「七夕」。昔を思い出しながら、輪



飾りや、星などの七夕飾りを作りました。「何を書こうかしら?」と話しながら短冊を書かれました。



14日 「梅干し作りその2」。赤紫蘇を洗って塩もみをして、しっかりと灰汁をとったら、先月から漬けている梅干しと一緒に漬け込みました。この後は梅雨明けを待って天日干しを行います。出来上がりが楽しみです。

22日 屋上の畑ですいかを育てています。10個くらい実つていますがまだまだ小さく食べごろにはもう少しかかりそうです。出来上がったら「すいか割り大会」をして美味しくいただきます。



小さいすいかを見つけ「あら!可愛いすいかちゃんね!撫でてあげよう!」と撫でていらつしやるところで記念撮影しました。(谷口)

【地域サービス事業】

地域包括支援センターケア24高井戸

杉並区では、「たすけあいネットワーク(地域の目)」という地域のボランティア(あんしん協力員等)が見守りや声かけで高齢者をサポートする事業が有ります。

今年度は、新型コロナの影響で、毎月開催している連絡会が開催できず、

やつと7月14日(火)にゆうゆう高井戸西館をお借りして、開催することが出来ました。

協力員の皆さんは、コロナの不安を抱え、人と会えない事の辛さを痛感しながらも工夫して過ごされていまして。ご自身の健康面を考え、食事や運動(散歩等含め)に気を付け「楽しく暮らす!」という言葉が印象的でした。ウィズコロナの時代の地域の見守りについて、協力員の皆さんと一緒に今年を考えて行きたいと思っています。(尾関)

杉並区地域包括支援センター ケア24高井戸
電話 03-3334-2495

【病院事業】

浴風会病院



「区民健診予約を開始しました」

コロナウィルス感染症対策のため遅れておりましたが、区民健診の予約を開始しました。杉並区、世田谷区、中野区、練馬区の方が対象となります。皆様のご予約をお待ちしております。お電話でのご予約は、月曜・金曜(祝日を除く)午前9時から午後5時までです。

◎予約電話 浴風会病院
03-3332-6511 (代表)

※面会中止について
都内感染者数の増加に鑑みまして、入院患者様への面会は中止させていただきます。再開につきましては、ホームページでお知らせいたします。(多胡)

老健くぬぎ (介護老人保健施設)

7月7日は七夕でした。くぬぎでもご利用者や職員が願い事を書き、その願い事が叶うように笹に下げて飾りました。また、簡易のプラネタリウムを使って天の川を見ていただきました。

老健くぬぎにある中庭で、6月上旬にふ化したカルガモ2羽ですが、どんどん大きくなりました。職員が設置したプールでは手狭になってきているようです。そろそろ近隣の池や川に引越すのではないのでしょうか!



入所部門ともに新型コロナウィルス感染予防対策として、3密(密閉・密集・密接)を避けるため、ご利用者が集合しての行事等を自粛しております。なるべく早く感染状況が落ち着くよう事業所内の感染予防に努めて参ります。

※面会中止について
都内感染者数の増加に鑑みまして、ご利用者への面会は中止させていただきます。再開につきましては、ホームページでお知らせいたします。(森屋)
★入所・デイケア・ショートステイご利用のご相談はお気軽にご連絡ください。
◎03-5336-7701 (代表)
◎03-5336-7734 (入所)
◎03-5336-7704 (デイケア)

【研究・研修他】

認知症介護研究・研修東京センター

13日 東京センター運営会議 (Zoomで開催)

27日 運営協議会及び評価委員会開催 (富島)



浴風会病院 初めての方にも安全安心の医療を ～外来看護師の役割～

か こ けん
外来看護長 加 固 研

浴風会病院は地域の方に開かれた診療を行っており、浴風会内の施設入居者以外の一般の方も毎日 100 名以上が外来を利用されています。一部の専門外来や検査などを除き、平日は毎日予約なしで受診することができます。

初めて来院される患者さんを例に、外来看護師の役割をご紹介します。

まず来院されると、正面玄関で来院目的を伺います。「なに科にかかればいいですか？」という受診希望のご相談がよくあります。その際看護師が直接お会いして、どの科に受診していただくのか調整して、診療科が決まったら、医師の診察の前に体温、血圧などをチェックし、今お困りの症状に関してさらに詳しいお話を伺います。



↑ 著者

診察室では医師だけではなく、看護師もまた身体介助や患者様の様子を観察するため同席し、初めて来院された方はいくつかの検査を行うことも多いので、採血室や検査室へのご案内もしています。

採血処置室では、看護師が採血や点滴、処置などを行い、検査や診察中に体調がすぐれない方は一時的にお休みいただくこともできます。

当日の検査結果が揃うと再度診察室にご案内し、医師より診断結果の説明やお薬の処方箋をお渡しします。病状によっては当院での入院治療や、連携医療機関を紹介させていただくこともあります。また、医師からの説明だけでなく看護師も質問や相談事を受けることができるよう同席しています。「家ではよく薬を飲み忘れてしまう」とか、「今日は入院したくない」など医師には直接話しにくいことなどを、診察室から出たところで、そっと看護師に打ち明けてくださることも少なくありません。医師や院内の各

部署との連携だけでなく、院外薬局や介護保険のケアマネージャーなどと連携し対応しています。

当院外来には看護師が 12 名おり、10 年を超える外来経験をもつベテラン看護師も多く働いています。見知った顔のスタッフがいる事で、安心される患者様もいらっしゃると思います。体調等不安な事はご遠慮なくお尋ねください。

☎ 03-3334-6511

どなたでも予約なしで受診できます



| | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|---------------------|--------------------------|----------|------------------|------------------|------------------|----|
| 受付時間 8:30~11:30 | 内科 眼科 整形外科 泌尿器科 | 内科 眼科 | 内科 眼科 整形外科 | 内科 眼科 整形外科 | 内科 眼科 整形外科 | 内科 |
| 受付時間 13:00~15:30 | | 耳鼻科 | 皮膚科 泌尿器科 | | 皮膚科 | |

令和 2 年度「浴風会つながるフェスタ」 「公開シンポジウム」開催中止について

地域の皆様から温かいご支援・ご協力を賜っております、毎年10月に開催している「浴風会つながるフェスタ」と有楽町朝日ホールで予定しておりました「公開シンポジウム」につきまして、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、地域の皆様の健康と安全を守ることを最優先に考え、今年度の開催をやむなく中止することといたしました。

新しい生活様式のもと、来年度の開催へ向けて尽力してまいりますので、どうぞ引き続きご支援、ご理解のほどよろしくお願いたします。

一日も早い新型コロナウイルスウィルス感染症の終息と、皆様のご健康を心よりお祈り申し上げます。



ご芳志

令和 2 年 6 月 16 日から 7 月 15 日

多くの方々よりご芳情をいただきました。ありがとうございます。

〈金品・物品〉

- 小山 すづ子様、浜田 信子様、
 - 宮沢 郁子様、村田 二郎様、
 - 小川 直樹様、大熊 とめ子様
- ほか、各施設にもいただいております。

【ご意見をお寄せください】

〒168-8510 ※住所なしで届きます

機関紙「浴風会」編集部係

soumu2@yokufukai.or.jp

https://www.yokufukai.or.jp/